③　ヒ素　本品0.5g（0.45～0.54g）を量り、水20mLを加えて溶かし、氷酢酸４mL及びヨウ化カリウム３g（2.5～3.4g）を加え、更に水20mLを加え、振り混ぜ、５分間放置した後、ろ過し、水５mLで洗い、ろ液及び洗液を合わせて、約10mLになるまで加熱して濃縮する。放冷した後、アスコルビン酸0.4g（0.35～0.44g）を加えて溶かし、これを試料溶液とし、装置Bを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき呈する色は、水30mLに氷酢酸４mL、ヨウ化カリウム３g（2.5～3.4g）及びヒ素標準液5.0mLを加え、５分間放置した後、以下試料溶液と同様に操作したとき呈する色より濃くてはならない（10μg/g以下）。

定量法　本品約0.4gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、水50mLを加えて溶かし、酢酸４mL及びヨウ化カリウム３g（2.5～3.4g）を加え、遊離したヨウ素を0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液で滴定する（指示薬　デンプン試液１mL）。同様の方法で空試験を行い補正する。

0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液１mL＝15.96mg$CuSO_4$

(イ)　保存の方法の基準

密閉容器に保存すること。

イ　製剤（その１）

(ア)　成分規格

硫酸銅（乾燥）製造用原体の成分規格を準用する。

(イ)　保存の方法の基準

硫酸銅（乾燥）製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

ウ　製剤（その２）

(ア)　成分規格

本品は、硫酸銅（乾燥）製造用原体に、賦形物質を混和した粉末である。

含量　本品は、定量するとき、表示量の90～110%に相当する硫酸銅（$CuSO_4$）を含む。

確認試験　本品の表示量に従い、硫酸銅（乾燥）製造用原体１gを含む量を量り、水10mLを加え、よく振り混ぜた後、ろ過する。ろ液につき、以下硫酸銅（乾燥）製造用原体の確認試験を準用する。

定量法　硫酸銅（$CuSO_4$）約0.4gを含む量の本品を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、水50mLを加えて溶かし、又は、必要ならば、水20mLで溶かした後、ろ過し、水で洗い、ろ液及び洗液を合わせて50mLとし、以下硫酸銅（乾燥）製造用原体の定量法を準用する。

0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液１mL＝15.96mg$CuSO_4$

(イ)　保存の方法の基準

硫酸銅（乾燥）製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

(94)　硫酸銅（結晶）

ア　製造用原体

(ア)　成分規格

含量　本品は、定量するとき、硫酸銅（$CuSO_4$・５H_2O）98.5%以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、青色の結晶、塊又は粉末で、臭いはない。

②　本品は、水及びグリセリンに溶けやすく、エタノールに溶けにくい。

③　本品の水溶液（１→20）のpHは、2.5～4.0である。

④　本品は、風解性である。

確認試験　本品の水溶液（１→10）は、銅塩及び硫酸塩の定性反応を呈する。

純度試験

①　溶状　本品1.0g（0.95～1.04g）に水20mLを加えて溶かすとき、その溶液は、青色で、澄明でなければならない。

②　鉛　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、水を加えて20mLとし、試料溶液とする。また、鉛標準液1.0mLを量り、水を加えて20mLとし、標準液とする。試料溶液及び標準液について鉛試験法（原子吸光光度法第１法）により鉛の試験を行うとき、その量は、10μg/g以下でなければならない。

③　ヒ素　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、水25mLを加えて溶かし、以下硫酸銅（乾燥）製造用原体の純度試験③を準用する（５μg/g以下）。

定量法　本品約0.5gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、以下硫酸銅（乾燥）製造用原体の定量法を準用する。

0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液１mL＝24.97mg$CuSO_4$・５H_2O

(イ)　保存の方法の基準

密閉容器に保存すること。

イ　製剤（その１）

(ア)　成分規格

硫酸銅（結晶）製造用原体の成分規格を準用する。

(イ)　保存の方法の基準

硫酸銅（結晶）製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

ウ　製剤（その２）

(ア)　成分規格

本品は、硫酸銅（結晶）製造用原体に、賦形物質を混和した粉末である。

含量　本品は、定量するとき、表示量の90～110%に相当する硫酸銅（$CuSO_4$・５H_2O）を含む。

確認試験　本品の表示量に従い、硫酸銅（結晶）製造用原体１gを含む量を量り、水10mLを加え、よく振り混ぜた後、ろ過する。ろ液につき、硫酸銅（結晶）製造用原体の確認試験を準用する。

定量法　硫酸銅（$CuSO_4$・５H_2O）約0.5gを含む量の本品を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、水50mLを加えて溶かし、又は、必要ならば、水20mLで溶かした後、ろ過し、水で洗い、ろ液及び洗液を合わせて50mLとし、以下硫酸銅（結晶）製造用原体の定量法を準用する。

0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液１mL＝24.97mg$CuSO_4$・５H_2O

(イ)　保存の方法の基準

硫酸銅（結晶）製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

(95)　硫酸ナトリウム（乾燥）

ア　製造用原体

(ア)　成分規格

含量　本品は、105℃で４時間乾燥した後、定量するとき、硫酸ナトリウム（Na_2SO_4）99.0%以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、白色の粉末で、臭いはない。

②　本品は、水に溶けやすく、エタノールにほとんど溶けない。

確認試験　本品の水溶液（１→20）は、ナトリウム塩及び硫酸塩の定性反応を呈する。

純度試験

①　溶状　本品1.0g（0.95～1.04g）に新たに煮沸し冷却した水10mLを加えて溶かすとき、その溶液は、無色で、濁度はほとんど澄明以下でなければならない。

②　重金属　本品2.0g（1.95～2.04g）を量り、重金属試験法第１法により試料溶液を調製し、鉛標準液2.0mLを用いて比較液を調製して重金属の試験を行うとき、試料溶液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くてはならない（10μg/g以下）。